



# 秋厚労ニュース

NO1851号

2018年6月28日

秋田県厚生連労働組合

秋田市山王5-4-2

TEL 018(864)3341

FAX 018(864)3349

# 今や協力員も中心的存在

## 協力員 青年部 球技大会総括会議

6月23日（土）、秋厚労球技大会の「協力員・青年部合同総括会議」が行われ、22名が参加。来年の球技大会に向け、活発な意見が飛び交いました。

### 球技大会前後の日程

担当中央執行委員による打ち合わせ	11月4日
協力員・青年部合同実行委員会	3月17日
球技大会案内文書の送付	3月29日
ルールの再案内	4月16日
「球技大会のしおり」送付	5月17日
第6回青年部会（対戦組合せの決定）	5月19日
対戦組合せを各支部へFAX	5月22日
第7回青年部会（前日準備）	5月25日
球技大会当日	5月26日
協力員・青年部合同総括会議	6月23日

## 協力員・青年部が念入りな打ち合わせ

一時は存続も危ぶまれた秋厚労球技大会。競技に出ながら大会運営に奮闘する青年部を応援する形で中央執行委員の有志が運営を手伝ったことが「協力員方式」の始まりでした。

今では各競技の責任者を協力員にお願いしています。当日準備のライン引きやコート設定も責任者指示の元、スムーズに終わりました。参加者が競技に専念できるのは協力員の力があつてこそ。今大会も大き

な怪我もなく、無事に終えることができました。

## フットサル新ルール 女性全員がゴール

事前の打ち合わせで大事な「ルール」を定めることです。ここでも協力員が前回の大会の総括をふまえ、意見を出し合います。今回の大きな変更点は2つ。

1つ目は、フットサルの「各チームコート内に必ず女性1名含むこと」です。男性だけのチームだと白

点ということもあり、男性が積極的に女性にパスを回す姿が多く見られました。その結果、女性全員がゴールにつながりました。

## バド試合数多くても大変

2つ目は、バドミントンをリーグ戦にしたことです。昨年、トーナメント戦で実施したところ1回戦で負けると1試合しかできないということがあります。リーグ戦にすることで1チーム4試合はできるようになりました。「たくさん試合できて楽しかった」という意見がある一方「他の競技に参加できなくなった」という意見も上がり、さらなる検討が必要となりました。

## より楽しめるように

### 検証を重ねて

熟しすぎて怪我につながる可能性があるから今ルールを設定。女性がいらないチームは他の支部から女性が増える人として協力する場面も見られませんでした。女性がシュートを決めると2

新たな取り組みの案として「総合優勝・MVPがある」とも盛り上がる「子ども



大会当日の協力員・青年部

も連れもいるので1種目親子で参加できる競技がある」と参加者が増えるかも」という意見が出されました。参加者を増やし、楽しんでもらうためにもさらなる検証が必要と主催者側の意欲も感じられました。この日、たくさんの意見が出され、来年の成功につながる実りある会議になりました。